

東奔西走

とうほんせいそう

宮城県議会議員

村上ともゆき

県政報告書

現地・現場主義を貫く

日頃より村上智行の議員活動に対しまして、皆様からの温かいご支援とご協力を賜りますこと、心より厚く感謝申し上げます。

甚大な被害をもたらした東日本大震災から4年が経過し、県内沿岸部において防災集団移転事業等のまちづくりが本格化するなど復興は着実に歩みを進めておりますが、一方ではマンパワー不足や資材の高騰、入札不調などの要因により住宅再建や店舗再開が出来ずに、仮設住宅などで不自由な生活を余儀なくされている被災者の皆様も数多くおり、取り組むべき課題は山積しています。

このような状況の下、平成27年度は県震災復興計画に掲げる再生期の二年目となり被災者の皆様への各種支援をはじめとする復旧・復興の加速化に最優先で取り組むとなっており、宮城県一般会計予算規模は1兆4,259億円、内震災対応分として5,823億円となっております。その内訳の中には平成28年3月に開始予定となっている仙台空港民営化に関する予算、岩沼市地域の排水能力を向上させる赤井江排水機場や圃場整備など復旧・復興事業があります。これらの事業は岩沼市や宮城県にとって重要な事業であり、将来へつなぐ、創造的復興の要となる事業ともいえます。

そして、平成27年度は国の集中復興期間の最終年度に当たり、震災復興特別交付金などの特例的な財政措置継続が現状では不明確であり、着実な復興事業の進捗を図るために、復興集中期間延長を県、市はもとより県議会など関係機関総力を上げ、より一層国に働きかけていかなければなりません。

私も従来からの現地・現場主義を貫き岩沼市、宮城県の復興を一日も早く成し遂げるために全力を尽くしてまいります。

これからも相変わらぬ、皆様方のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

宮城県議会議員 村上智行

平成26年・25年県議会質問・質疑事項

平成26年は全ての定例会で質問・質疑をし、県財政、復興集中期間延長、被災者支援、住宅再建道路や防潮堤などインフラの復旧、農地整備、資材高騰、入札不調…様々な課題を取り上げました。今後も地域密着、現地現場主義を貫き県議会に反映をして参りますので、引き続き皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

■平成26年11月定例会 予算特別委員会総括質疑

- 1 財政調整基金について
- 2 地域整備推進基金について
- 3 東日本大震災復興交付金について
- 4 都市公園事業費について
- 5 被災地域農業復興総合支援費について

■平成26年9月定例会 決算特別委員会総括質疑

- 1 平成25年度財政運営について
- 2 内部統制について
- 3 企業の農業参入について

■平成26年6月定例会 予算特別委員会総括質疑

- 1 仙台空港民営化推進費について
- 2 東日本大震災復興交付金基金造成費について
- 3 復興関連道路整備費について
- 4 被災地域農業復興総合支援費について

■平成26年2月定例会 予算特別委員会総括質疑

- 1 補正予算編成について
- 2 中小企業等復旧・復興支援費について
- 3 災害復旧費について

■平成25年11月定例会 予算特別委員会総括質疑

- 1 被災地域農業復興総合支援費について
- 2 東日本大震災農業生産対策費、農業生産早期再興対策費について

■平成25年9月定例会 決算特別委員会総括質疑

- 1 財政運営について
- 2 学力向上について
- 3 広報事業について
- 4 みやぎ国際戦略プランについて

■平成25年6月定例会 一般質問

- 1 東日本大震災の復旧・復興について
- 2 仙台空港民営化について
- 3 高等学校観光科新設について
- 4 放射光施設誘致について



村上ともゆきプロフィール

昭和43年10月14日生まれ

東北学院高等学校、東北学院大学、宮城大学大学院事業構想学研究科修了
平成11年岩沼市議会議員選挙初当選、平成19年宮城県議会議員選挙初当選
県議会 建設企業常任委員会副委員長、空港民営化調査特別委員会委員長
自民党宮城県連 筆頭副幹事長、広報本部長、第三選挙区幹事長
宮城県薬剤師会政策委員、宮城県ラグビーフットボール協会参与